

登録コード	ASL04500	開講年度	2026				
授業科目	植物資源生産学特別実験実習				担当教員	松島 憲一	
英文授業名	Advanced Experimental Course on Plant Science and Technology				副担当	鈴木 香奈子・阿久津 雅子・根本 和洋・大迫 祐太郎	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	実験	備考		
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】 農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				⇔	農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。	
授業の概要	植物資源に関する基礎的・応用的実験手法についての理論を概説し、その後、実習形式で、フィールドあるいはラボでの実験手法の詳細を修得するとともにその解析についてコンピューターを用いて実施する。さらに、種々の分野でのそれらの利用方法を探る						
Contents:	This experimental training will be given in part in a seminar style, discussion among participants and presentation by students. Through these various styles of lessons, students will learn specialized knowledge of experimental method and theory of experimental method. Students are also instructed to acquire abilities related to the diploma policy.						
授業計画	第1回：バラ科植物の植物生理学の実験（阿久津・大迫祐太郎） 第2回：バラ科植物における果実形質の遺伝解析法（阿久津・大迫祐太郎） 第3回：イネ科植物の植物生理学の実験（松島） 第4回：イネ科植物における諸形質の遺伝解析法（松島） 第5回：ナス科・アブラナ科植物の植物生理学の実験（松島） 第6回：ナス科・アブラナ科植物の諸形質の遺伝解析法（松島） 第7回：植物の花器形質についての生理学の実験（阿久津） 第8回：植物の花器形質についての（色，香り等）計測法（阿久津） 第9回：遺伝資源の探索とその解析法（松島） 第10回： 遺伝子の多型解析法（松島） 第11回：マメ科植物の植物生理学の実験（鈴木） 第12回：マメ科植物の諸形質の遺伝解析法（鈴木） 第13回：植物資源学分野における実験計画の策定方法（根本） 第14回：植物資源学分野における実験データのコンピューターによる解析方法（根本） 第15回：植物資源学分野における実験結果の取りまとめ、プレゼンテーション法（松島） 授業アンケート回答						
成績評価の方法	それぞれの実験実習後に提出したレポートにより総合的に評価します。						
成績評価の基準	総合得点が90点以上を秀, 80点以上を優, 70～79点を良, 60～69点を可, 59点以下を不可と評価します。						
事前事後学習の内容	事前・事後ともに各分野に関連する専門書で学習して下さい。						
履修上の注意	生態学、植物生理学、育種学、作物学、栽培学、蔬菜園芸学、果樹園芸学、植物バイオテクノロジーなどに関する知識が必要です。						
質問,相談への対応	随時担当教員に相談するか、E-mail等で適時応じます。						
学生へのメッセージ	生態学、植物生理学、育種学、作物学、栽培学、蔬菜園芸学、果樹園芸学、植物バイオテクノロジーなどに関する知識が必要です。						
【教科書】	特になし。						
【参考書】	各担当から別途提示します。						